

【被服衛生学セミナー報告】

平成28年度 第35回被服衛生学セミナー報告

～ 衣服によるココロとカラダの健康～
健康・快適な生活に向けたスマートテキスタイル活用への期待

諸岡 晴美

京都女子大学 家政学部

はじめに

第35回被服衛生学セミナーが平成28年8月25日（木）・26日（金）に開催されました。今回のテーマは、近年研究が大きく進みつつあるスマートテキスタイルの開發現状を知り、アパレルと健康に視座を置く本部会の研究者がこれをどのように活用していくのか、また、スマートテキスタイル開発にどのように寄与していけるのかを考える機会をもつことを目的としました。テーマを「衣服によるココロとカラダの健康ー健康・快適な生活に向けたスマートテキスタイル活用への期待ー」と設定させていただき、今回は関西地区が担当ということで、京都女子大学での開催となりました。

セミナー概要

第1日目は、スマートテキスタイルに関する講演として、堀照夫氏と板生清氏にご講演いただきました。また、本部会恒例の若手発表2件、海外留学報告1件が行われました。

第2日目には、日本家政学会の活動助成金を得て、一般公開講演として、永井伸夫氏と平林由果氏から心の健康と生理指標に関する講演をいただきました。また、京都の文化の一端として、京友禅の型染の歴史を青木美保子氏に講演いただき、その後、京友禅の型染工房に行き、伝統工芸士である小糸太郎氏に講演と現場での解説をいただきました。

参加状況は、講師6名、名誉会員1名、正会員35名、非会員4名、学生4名、一般公開講演ではプラス19名であり、多くの方々の参加を得ることができました。このことは、実行委員会として何よりも嬉しいことでした。



写真1：講演会場にて

セミナー内容

1) 講演

第1日目は、スマートテキスタイルに関する講演として、堀照夫氏（福井大学・客員教授）、板生清氏（東京大学・名誉教授）にご講演いただきました。

堀氏からは、「スマートテキスタイルの開発の現状」と題し、ドイツやフランスをはじめとするEU諸国で、最近では香港や台湾でも急成長しているスマートテキスタイル分野の日本企業の取組みについて最新の情報をわかりやすく解説いただきました。

板生氏からは、「人間情報学に基づくウェアラブルサービスの将来像」と題してご講演していただきました。安心・快適な環境を持ち歩くウェアコン（衣服空間）の実現のための人体密着センサーとスマートテキスタイルの関係が発展途上にあり、冷暖房機能と情報センシング機能を合わせもつデバイスを提案しており、ここで重要なのは、人間の快適さを追求する研究であると話されました。今後ますます被服衛生学研究が重要になると感じた瞬間であったと思われれます。

2) 研究発表・海外留学報告

以下の2題の研究発表および海外留学報告1件が行われました。

研究発表 1: 「三原組織によるりん光輝度の相違について」、小野寺美和氏(東北生活文化大学)、谷明日香氏(四天王寺大学短期大学部)、竹本由美子氏(武庫川女子大学)

研究発表 2: 「動的衣服圧に伴う摩擦が皮膚表面微細三次元構造に及ぼす影響」、徐賢敏氏(文化学園大学大学院)、佐藤真理子氏(文化学園大学大学院・文化学園大学)、松井有子氏(文化学園大学)、田村照子氏(文化学園大学大学院)

海外留学報告: 「デンマーク工科大学での滞在」西原直枝氏(聖心女子大学)

海外留学でのお話は、子育てとの両立という意味においても、これからの若手研究者にとっては非常に関心の深い内容が含まれるものでした。

3) 一般公開講演

第2日目には、日本家政学会の活動助成金を得て、3題の一般公開講演を行いました。

「衣服と健康ーバイオマーカー測定による衣服の快適性評価ー」永井伸夫氏(文化学園大学・教授)、「装いが心身の健康に及ぼす影響ー感情評価尺度・ストレスホルモン分析よりー」平林由果氏(金城学院大学・教授)の両氏からは、心の健康と生理指標に関する講演をいただきました。心の健康を測定することの難しさを改めて感じると同時に、スマートテキスタイル研究の今後の発展において非常に重要な研究であると感じられた参加者も多かったのではないかと思います。

最後に、美しい友禅着物を見て心を癒していただくこと、また京都の文化の一端に触れていただくことを目的として、青木美保子氏(京都女子大学准教授)に「京友禅と型染の歴史」と題する講演をいただきました。

4) 見学会

先の青木氏の講演に引き続いて、午後からは、セミナー会場からタクシーで10~15分にある工房・小糸染芸に伺い、小糸太郎氏(伝統工芸士・小糸染芸代表取締役社長)の講演と実際の作業場において解説をいただきました。型染と思えないくらいの精緻な文様に一同感動いたしました。当初25名が限界ということでしたが、40名を超え



写真2: 見学会場(小糸染芸)にて

る参加者を受け入れていただきました。参加者の皆さまには、京都の文化を堪能いただけたことと拝察しております。

5) 懇親会

懇親会では、(公益財団法人)京都文化交流コンベンションビューロー「京都らしいMICE開催支援補助制度」の助成金をいただき、(A)京都らしい文化プログラムとして「芸舞妓体験」と(B)京都らしい伝統産業製品のお土産として「小袷紗」を用意させていただきました。参加の皆さまには芸舞妓の舞と会話を楽しんでいただきました。懇親会は、京都がんこ高瀬川二条苑で行いました。ここは、戦国時代から江戸時代初期にかけての豪商である角倉了以が私財を投じて開削した高瀬川の源流にあり、鴨川を引いた大きな庭園をもつところであり、併せて京都の夜を楽しんでいただけたことと思っております。



写真3 懇親会にて

おわりに

ご参加いただきました先生方、本セミナーの運営にご協力いただきました実行委員の先生方に心より感謝申し上げます。特に、庶務を担っていただきました深沢太香子先生には会員の皆さまへの案内、各種の補助金の申請から報告まで非常に多くの仕事をこなしていただきました。乾真理子先生には会計としてのとても重要な仕事を担っていただきました。心より感謝申し上げます。また、何よりもご多忙にも関わらずセミナーにご参加いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。お蔭様をもちまして、大変盛会裏に終了することができました。ありがとうございました。



写真4 京都らしいレセプション風景

第35回被服衛生学セミナー実行委員会 (関西地区担当)

実行委員長：諸岡 晴美（京都女子大学）
顧問：平田 耕造（神戸女子大学）
 斉藤 秀子（山梨県立大学）
実行委員：乾 真理子（華頂短期大学）
 井上 真理（神戸大学大学院）
 今村 律子（和歌山大学）
 芝崎 学（奈良女子大学）
 柴田 祥江（京都府立大学）
 谷 明日香（四天王寺大学短期大学部）
 永井 由美子（大阪教育大学）
 花田 美和子（神戸松蔭女子学院大学）
 深沢 太香子（京都教育大学）
 與倉 弘子（滋賀大学）

<連絡先>

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
京都女子大学 家政学部 諸岡晴美
電話・FAX：075-531-7174
eメール：morooka@kyoto-wu.ac.jp